

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」



150周年

遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～子どもも 教職員も 地域も 伸びる学校～

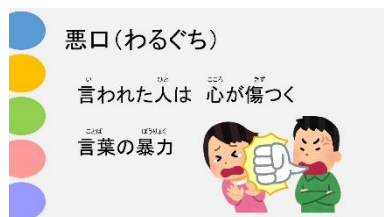
いじめについて考える週間

「いじめについて考える週間」は、いじめの問題について理解を深め、予防や対策を考えるために設けられた期間です。岡山県教育委員会では毎年6月の第1月曜日から1週間で「いじめについて考える週間」と定めています。

遷喬小でも、いじめについて考える取組を行っています。その一部を紹介します。

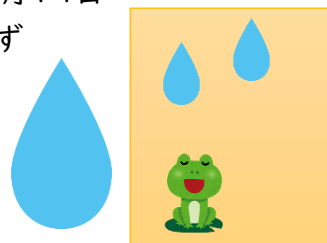
全校児童集会での校長講話

「悪口」は人の心を傷つける「言葉の暴力」であることや、友達の悪口を聞いたときに、悪口を言われていた人に直接伝えてあげることが、必ずしもやさしい行動にはならないなどの話をしました。



児童による取組

運営委員会の児童が、「めざせ!優しい言葉名人!」という企画を考え、プレゼンテーション資料を作成し全校児童に伝えました。6月10日(月)から6月14日(金)までに、友達に言われてうれしかったことを、図のようなしずく型の紙に書いていって、ポスターに貼っていきます。カエルが、「うれしい言葉」のしずくをたくさん浴びて喜んでいるポスターになることをめざします。



この他にも、いじめに関係のある本を各学年で紹介したり、図書司書による絵本の読み聞かせをしたりする取組も行う予定です。

遷喬小の子どもたちが安心してすごせる学校を、子どもたちみんなで作ってみたいと考えています。

図書館見学

6月7日(金)、2年生が生活科の学習で久世図書館見学に行きました。図書館の方が、館内の案内や貸し借りの仕方の説明をしてくださいました。また、「やりがいを教えてください。」など子どもたちのインタビューに対し、分かりやすくお話いただきました。お忙しい中、ありがとうございました。



自転車のマナーについて

北町公園付近のお店で買い物をしている子どもたちが、お店の前の道路にはみ出るように自転車をとめていて危ないので注意したと連絡がありました。ありがたいことです。地域全体で子どもたちの健全育成をしていくためには、社会のルールやマナー違反をしている子を見かけたときは、その場で教えることが大切です。学校でも、自転車のとめる場所等のマナーについて指導します。各家庭でもお声かけをお願いします。

遷喬小150年の軌跡④

遷喬小学校の最初の校章は、建築技師 江川三郎八さんが原案を作成した高瀬舟をモチーフとしたデザインでした。その後、大正12年頃に校章デザインを一般公募しました。そのときに採用されたデザインは、マークの中央が「遷」の文字だったそうですが、当時の教員が、遷ではなく「小」の文字を中央に入れ、現在の校章になったそうです。

なぜ、校章を変更することになったのか、いきさつは不明ですが、久世中学校が、遷喬小と同じマークで、中央が「中」です。久世の小学校と中学校と、分かりやすい校章です。



江川氏による校章原案



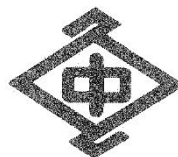
明治~大正の校章



大正12年頃に
候補となった校章
デザイン



現在の校章



久世中学校の校章